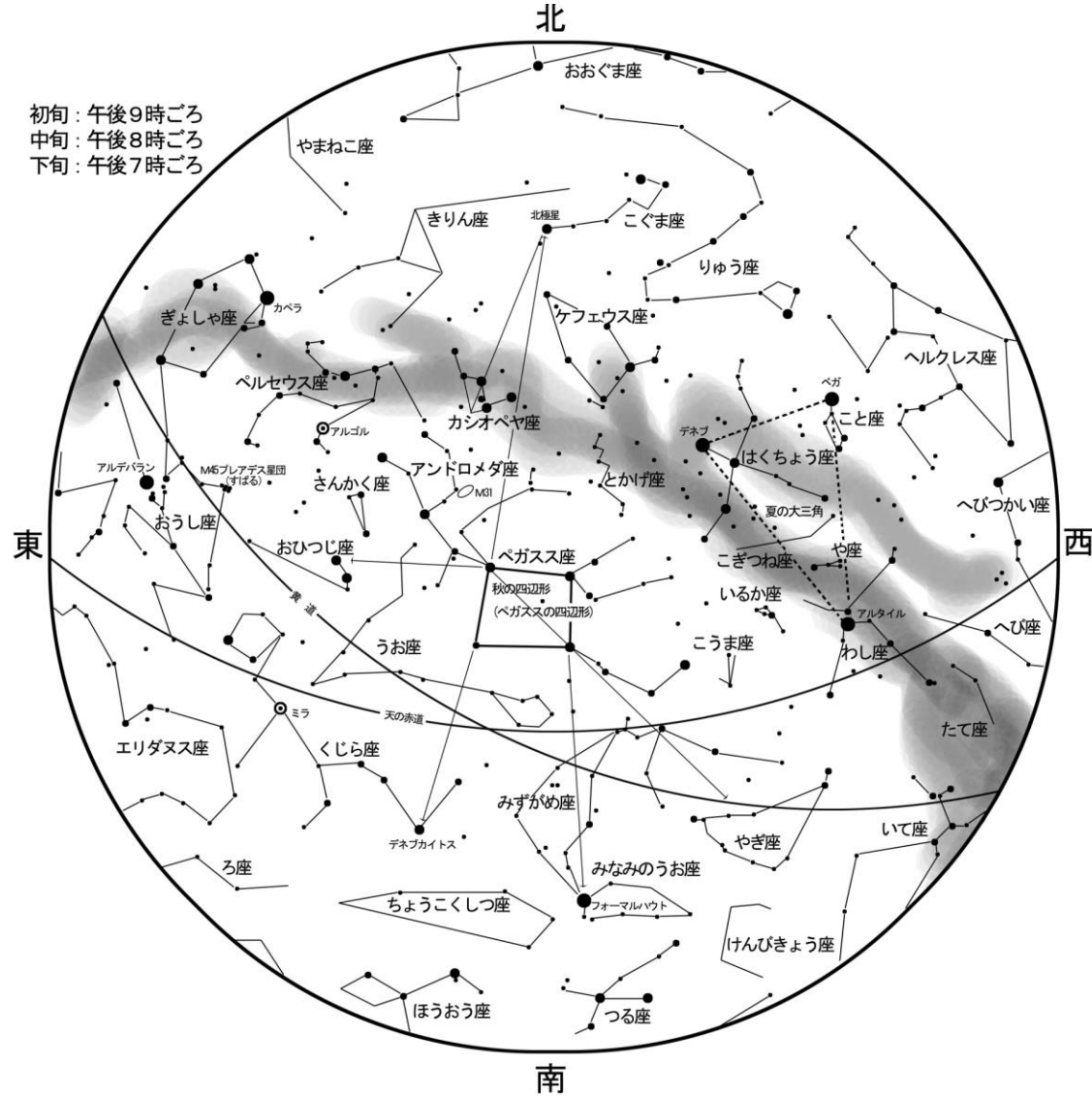


# 平成26年 11月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



初旬：午後9時ごろ  
中旬：午後8時ごろ  
下旬：午後7時ごろ

## ★11月の星空案内

今月の星空では、頭の真上あたりに握り拳より一回り大きい四角形の星の並びがあります。これを“秋の四辺形”といい、秋の星座めぐりのよい案内役になります。ここには「ペガスス座」があります。この“秋の四辺形”を使って星座を探しましょう。

まず、“秋の四辺形”の西(右)の辺を南にのばしていくと、秋の星空で唯一の一等星フォーマルハウトを見つけられます。ここには「みなみのうお座」があります。次に、“秋の四辺形”の東(左)の辺を北にのばしていくと、W字に並んだ5つの星の並びにぶつかります。この星の並びが「カシオペア座」です。また、“秋の四辺形”の北東角(左上)の星を頂点とした“アルファベットAの字”の星の並びが「アンドロメダ座」です。このあたりに雲のようなものが見えます。これが、アンドロメダ銀河(M31)です。アンドロメダ銀河は、私たちがいる天の川銀河のとなりの銀河です。ただ、となりと言っても、地球から約230万光年(光の速さで約230万年かかる距離)離れています。

秋の夜長には、星や星座、アンドロメダ銀河探しにチャレンジしてみてもいいかですか。

### < 現在見える惑星 >

- 水星(-0.8等前後): おとめ→てんびん座付近 夜明け前、東南東の低空で輝く。(上旬のみ) 中下旬は見かけ上太陽に近い観測に適さない。
- 金星(-3.9等前後): てんびん→さそり座付近 見かけ上、太陽に近い観測に適さない。
- 火星(1.0等前後): いて座付近 20時頃、南西の低空で赤っぽく輝く。
- 木星(-2.2等前後): しし座付近 夜明け前、南東の空で輝く。
- 土星(0.5等前後): てんびん座付近 見かけ上、太陽に近い観測に適さない

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	土	水星が西方最大離角 (21:39)	19	水	土星が合 (06:13)、木星が西矩 (17:06)
7	金	☉満月 (07:23)、立冬 (21:07)	22	土	●新月 (21:32)
15	土	☾下弦 (00:16)	23	日	木星の衛星の相互食 (01:31)
18	火	しし座流星群極大 (07時頃)	29	土	☾上弦 (19:06)